

## **Smart Access Vehicle Service**

# スマートモビリティへの取り組み

2022/3/14

株式会社未来シェア http://www.miraishare.co.jp/



## 株式会社 未来シェア

会	社	名	株式会社 未来シェア (英名:Mirai Share Co., Ltd.)
設		立	2016年7月21日
本社	t所在	地	函館本社 : 〒041-0806 北海道函館市美原2-7-21
事	業	所	横浜事業所 : 横浜市西区みなとみらい3-7-1 オーシャンゲートみなとみらい8Fつくば事業所: つくば市吾妻1-5-7 ダイワロイネットホテルつくばビル2F
取級	静役 <i>会</i>	表長	中島 秀之 : 札幌市立大学理事長・学長 公立はこだて未来大学名誉学長 工学博士 松原 仁 : 東京大学大学院情報理工学系研究科教授 公立はこだて未来大学特任教授 工学博士
代表	₹取締	後	松舘 渉 : 株式会社アットウェア取締役 株式会社駅探社外取締役
取	締	役	平田 圭二 : 公立はこだて未来大学理事・副学長 工学博士 野田 五十樹 : 北海道大学大学院情報科学研究院情報理工学部門教授 博士(工学) 金森 亮 : 名古屋大学特任准教授 博士(工学) 岩村 龍一 : 株式会社コミタクモビリティサービス取締役会長



## 公立はこだて未来大学発ベンチャー

## SAVS (Smart Access Vehicle Service)



## オンデマンド・リアルタイム乗合 (AI 便乗) 配車







1. デマンドに応じて車両が走行

2. 異なるデマンドが発生

3. リアルタイムにルート最適化





空き座席の有効活用で空車と待ち時間と走行距離を削減 無駄のない公共交通を実現

### AI デマンド交通 SAVS の沿革

- □ 2001年:産業技術総合研究所にてデマンドバス配車シミュレーションの研究に着手、その後公立はこだて未来大学にて研究を継続
- □ 2011年: NPO法人「スマートシティはこだて」発足
- □ 2013年:函館市内において、実車両を用いた実証実験を開始
- □ 2015年:4日間・30台・300人以上の乗客の送迎を成功
- □ 2016年:株式会社未来シェア設立、東京23区内での実験
- □ 2017年:NTTドコモとの共同研究・開発開始
- □ 2018年: JTBとの連携協定、実サービス運用開始

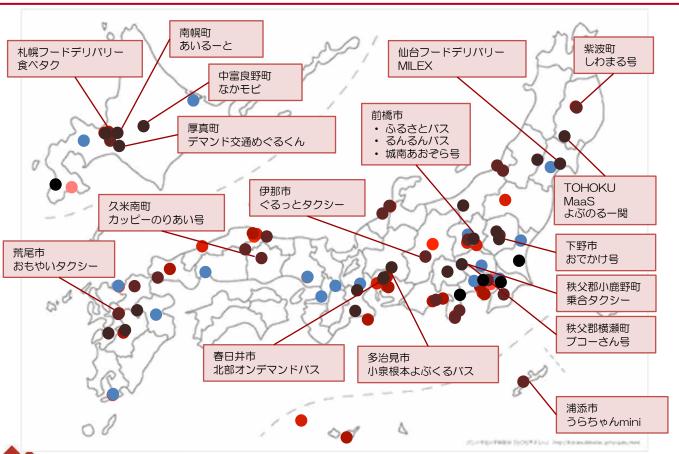
実証実験エリア、実運用エリア増加中

(全国100以上の都市での運行実績)



2013 世界初のオンデマンド・ドア to ドア・リアルタイム・乗合・無人配車実験を実施

## SAVS の全国展開 ~ 運行・実験地域 ~



#### 運行実施時期

- ~2015
- 2016
- 2017
- **2018**
- 2019
- 2020
- 2021
- 2022

#### サービス運行中

NTTドコモ Al運行バス



## SAVS の全国展開 ~ 北海道内の事例 ~

SAVS 運行実績 凡例

実証実験

実運用

2020/1 ~ 札幌フードデリバリー 食ベタク

- 軽貨物運送(黒ナンバー)・積み合わせ
- 車両台数:15(軽自動車)

#### 札幌市

- 2019/10 NoMaps
- 2020/2 清田区健幸ポイント実験
- 2022/2 厚別区もみじ台 訪問リハビリ職員

2020/11 北広島市 広告収益型 MaaS 実験

#### 2022/2 江差マース実験

- 一部居住エリア + 商業エリア
- 車両台数:1(ジャンボ)
- 自動音声予約(IVR·無人応答)

# MIRAI SHARE

 $2013 \sim 2015$ 函館オンデマンド乗合実験 (公立はこだて未来大学)

2021/10 ~ 南幌町 あいるーと

- 町内全域ドア・ツー・ドア
- 車両台数:2(ジャンボ)
- WAON決済導入

2021/10 ~ 中富良野町 なかふらの予約型乗合タクシー なかモビ

- 町内全域ドア・ツー・ドア
- 車両台数:4(セダン)
- 通常タクシー運行とデマンド交通の ハイブリッド運用

#### 2021/6~厚真町 デマンド交通 めぐるくん

- 北部 + 市街地 / 南部 + 市街地
- ドア・ツー・ドア
- 車両台数:2(ジャンボ)

各エリアに1台ずつ (中心部に予備車両 + 1台)



Copyright© Mirai Share Co., Ltd. All rights reserved.

## 事例:岡山県久米南町 カッピーのりあい号

#### □ 久米南町



□ 人口: 4,534人

□ 世帯数: 1,792世帯

(令和2年国調速報値)

□ 高齢化率:約45%

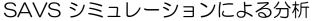
(県内の自治体で1位)

□面積:78.65 k m²

□ 平地が少なく、大半が丘陵地

□ 中心部を南北に国道とJRが縦断

□ JRの駅は3駅存在







適正車両数、配車パラメータの割り出し

# 2020/1/20 新ルールでの運行開始





2016年4月

ドア・ツー・ドア運行開始





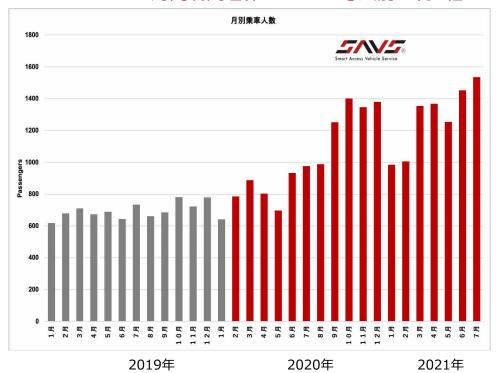
※ 資料提供:久米南町

Copyright© Mirai Share Co., Ltd. All rights reserved.

## 事例:カッピーのりあい号 利用数推移

#### □ 月間延べ利用者数の推移

月間利用者数:SAVS導入前の約2倍



#### □ 時間毎の利用者数変化



#### □ 利用目的の変化(自宅を除く)

#### 余暇活動への利用が増加



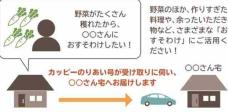


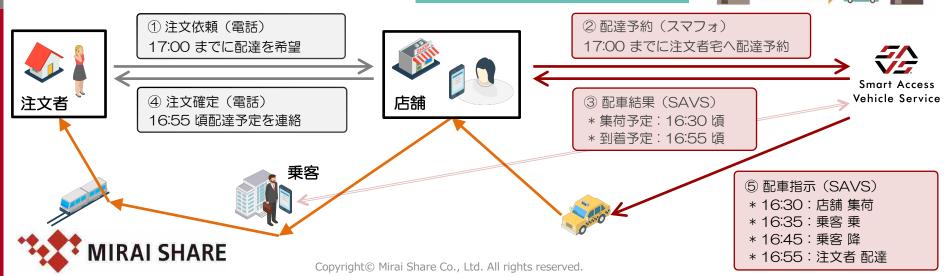
※ 資料提供: 久米南町

## 事例:カッピーのりあい号 貨客混載 宅配サービス

- □ 配送料: 1ケース¥300(5kg以内)
- □ 配達予約方法:商品提供店舗からのスマフォ(Web)予約 / コールセンターへ配達依頼
- □ 町内全域のドア・ツー・ドア公共交通を物流へ応用
  - フードデリバリー (飲食店→自宅)
  - 買い物代行サービス(商店→自宅)
  - おすそわけサービス(自宅→自宅)







## 交通に関わる社会課題の解決

#### 交通空白地の移動手段

- 高齢者の免許返納促進
- 過疎地域の交通手段確保
- 外出の促進と健康維持

#### ドライバー不足

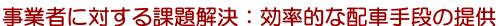
- 運送・輸送の効率化
- 需給バランス適正化
- ) 労働条件の改善

#### 都市計画

- 企業・住民・観光誘致
- 渋滞緩和・災害対策
- 交通維持への支出抑制

#### AI・ICTプラットフォームによる課題解決







乗客不在の走行を減少、車両あたりの移送乗客数を増加経費の削減 と利用者数増加



利用者に対する課題解決:移動手段利用格差の解消

移動手段利用格差の解消、便利で低コストな移動手段を提供

社会に対する課題解決:環境保全、地域経済の活性化



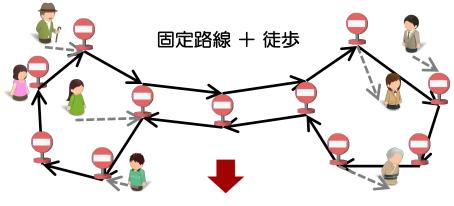
渋滞緩和とCO2排出量削減などの環境保全、災害発生時の交通手段確保、人々の移動を促し地域経済の活性化に貢献

MIRAI SHARE

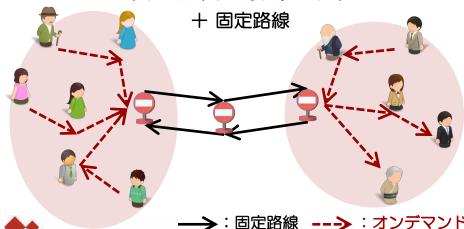


Copyright@ Mirai Share Co., Ltd. All rights reserved.

## シミュレーション + アジャイル改善:永続的成長型の公共交通



#### ドア to ドア オンデマンド

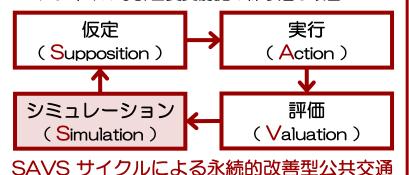


## 固定路線公共交通

- 運行距離の長さに比例する運行時間間隔。
- 利用者へバス停までの移動と待ちを強制
- 移動需要と連動しない定時定路線運行
- 年単位・数年単位の運行計画見直し

#### 固定路線 + オンデマンド公共交通

- 中短距離・短時間隔路線 + オンデマンド
- 利用者の要望と乗車地点に合わせた送迎
- リアルタイム需要をベースの便乗配車計算
- アジャイルな計画変更前提の繰り返し改善



Copyright@ Mirai Share Co., Ltd. All rights reserved.